

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞

くろ た き む ら  
**黒滝村 Lover** Vol.5

TAKE  
FREE

● Cover Place

黒滝村赤滝地区「伊谷の滝」

桜井商店

創業約90年の歴史



力強く生きる女性たち  
をご紹介します！！

★地域おこし協力隊四コマ★  
「いがみのごんたくん見参! ?の巻」



**ご意見募集中**  
本誌では、取り上げてほしい内容や取材依頼、企画など幅広く募集しております。また本誌の購読をご希望の方にはお送りさせていただきます。詳しくは地域おこし協力隊白石まで。  
**お問い合わせ**  
kurotakimura@yaho.co.jp

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞  
**黒滝村 LOVER vol. 5**  
平成29年6月1日発行  
企画 黒滝村役場企画政策課  
制作・編集 白石隊員（観光PR担当）  
マンガ マンガ  
作：シライシ画：マルモリ

●黒滝村へのアクセス  
●京都から  
近鉄京都 近鉄特急 (橿原宮前乗り換え) 約1時間20分 下市口 奈良交通バス 約50分 黒滝案内センター  
●大阪から  
近鉄大阪阿部野橋 近鉄特急 約1時間 下市口 奈良交通バス 約50分 黒滝案内センター  
※平日に限り、村内巡回バス「ふれあいバス」運行。※待ち時間は含まれておりません。また、時間帯により所要時間が変わります。

★黒滝村News★  
黒滝村新村長就任!!



5月21日、黒滝村元村長辻内幸二氏の任期満了となり、第22代黒滝村村長に**辻村源四郎氏**が就任しました。第20代の元村長でもある辻村新村長のもと、黒滝村は新たなスタートを切りました! 今後の黒滝村のさらなる発展をご期待ください!!

★話題のひとご紹介★  
奈良県吉野郡下市町・元地域おこし協力隊 **秋谷奈美さん**



昭和48年埼玉県生まれ。貴金属卸の営業事務等を経て27歳でイギリス留学。帰国後は子供英会話講師や海洋開発関係の秘書を務め、下市町の協力隊に就任。現在は下市町で「よしの農林業週末塾」の開催など多岐に渡る活動を精力的に続けている。

●下市町で2017年4月から女性の為のゲストハウス「アフリコット」を経営している秋谷さんは黒滝村から見ても「**気になる人**」です。東京でバリバリ働いていましたが、稼いでは浪費するだけの都会生活に疲れ果てた秋谷さん。「奈良が美しい」と書く自身の名から奈良との縁を感じ、初めて千石橋から川を眺めたとき、**吉野川の向こう側が「聖域」**だと幻想的なインスピレーションを受けました。他県の方はもちろん、同じ奈良県民からもひとくきで見られがちな「**吉野郡**」の**3町8村**。秋谷さんも下市に移住して初めて市町村単位の違いを知りました。しかし、知らなかったことを逆手にとり、自治体ごとの細かな垣根にとらわれず全国的な知名度と魅力を備えた「**よしの**」に魅力を感じている人が全国から集う場所になればとの思いから「**よしの農林業週末塾**」と名付け、地元の期待を集めています。黒滝村地域おこし協力隊の勝原隊員もかつて二期生塾生として卒業し、学んだことを活動に活かしています。密接に関連する農業と林業ですが、それを**複合的に学べる塾は実は全国的にも珍しい**ものです。

秋谷さんの挑戦は各種メディアからも注目され続けています。

|                                                                                                     |                                                                                                                   |                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>農業担当</b> (集落支援員)</p> <p>今年も白きゅうりの栽培が始まります。立派な白きゅうりが実りますように。田んぼも楽しみです。</p> <p><b>樋口支援員</b></p> | <p><b>観光施設担当</b></p> <p>黒滝に遊びに来てくれた友達(写真真ん中)とパンヤリ川の橋端に感動しながら、こんなにやがてが美味しかったとずっと言っていました(笑)。</p> <p><b>藤田隊員</b></p> | <p><b>食の6次産業化プロジェクト担当</b></p> <p>運輸中に山で咲いている藤の花をたくさん見かけました。畑ではない、自然の藤の美しさに感動しました。</p> <p><b>勝原隊員</b></p> |
| <p><b>林業振興担当</b></p> <p>チェーンソーの特訓中です! 先輩方に教わりながら安全第一で取り組んでいます。</p> <p><b>辻本隊員</b></p>               | <p><b>林業振興担当</b></p> <p>草木もぐんぐん大きくなる季節。私もそのように成長できたらと思います。あつと体重の話ではないですよ(笑)。</p> <p><b>住吉隊員</b></p>               | <p><b>林業振興担当</b></p> <p>先日、大台ヶ原マラソンに出場し先走しました! 普段の山仕事の効果が予想より好記録でした。</p> <p><b>久喜隊員</b></p>              |

◇隊員のつぶやき◇

※画像提供 岡村印刷工業株式会社



昔懐かしの駄菓子屋さん

# 桜井商店

店主 ふみえ  
桜井二三江さん

1931年11月23日、寺戸区生まれ。桜井商店で生まれ育ち家業を継ぐ。地域住民の憩いの場である桜井商店の店主として、あらゆる人から愛され続けています。薬や苗の預かり、小学生達の見守り等、桜井さんの親切心にお世話になった村民多数。  
いつも笑顔が素敵な85歳。

## ◇行者の休憩場所として◇

●かつて黒滝村には修験道の「行者」と呼ばれる大峯山への山上参りを行う人々が日に2000人近く訪れていたと言われています。また昭和初期の村の人口は実に3000~4000人規模でした。大正から昭和後期にかけて中戸区川戸へ寺戸の一带には映画館、パチンコ屋、旅館、魚屋、自転車屋、薬局、金物屋、呉服屋、洋服店、豆腐屋、煙草屋、散髪屋、美容院、雑貨屋、家具木工店、菓子店、饅頭屋、米屋、酒屋、電気屋、ガス屋、その他公共施設が所狭しと立ち並び、村いちばんの賑わいを見せていました。そんな時代を経て、深刻な過疎化に直面する現在まで残る数少ない店舗のひとつ「桜井商店」で、現店主の桜井二三江さんは生まれ育ちました。

## ◇村営発電所に勤務した父◇

●五條出身の父・芳蔵さんは村営の中戸発電所（水力）で勤務していました。発電量が不安定で「クロデン」（黒い電気）「アカイトデンキ」（赤い糸のような電気）と揶揄された発電所でしたが、大正10年、下市町岩森よりも早くに黒滝に電気が開通し、村民を驚かせました。その後、芳蔵さんは妻・ヨシエさん（黒滝村）と共に、昭和三年頃、吉野建ての店舗兼住居「桜井商店」をオープン。食品や雑貨だけでなく、うどんや酒類も提供する食堂でした。

●戦時中の食糧難の時代にはメリケン粉とあんこで母・ヨシエさんが作るエビ入りの「あん巻き」が若者に人気となり、戦地の兵隊さんから母の元に、

「あん巻きの味が忘れられません。」と手紙を頂いたこともあったそうです。

## ◇地域の中継地点として◇

●以前は村民の荷物や薬、苗などを二三江さんが親切心から預かることも多く、桜井商店が村の中継地点のような役割を果たすこともしばしばでした。駄菓子屋として大勢の子供達で賑わったのはもちろん、履物や電気部品など多様な商品を取り扱っており、風流な鳴き声が特徴的な「カジカ」の瓶詰を販売していたこともありました。

## ◇道路拡幅工事◇

平成11年に出合の交差点エリア一带は道路拡幅工事の為、立ち退きとなり、お客さんは激減してしまいました。しかし現在でも宅急便の取り扱い「朴の葉寿司」の贈り物（村の風習）のシーズンには特に重宝され、少ないながらも毎年のように行者やサイクリング、釣り客などの常連客が桜井さんを慕って来てくれます。そして生来、誰にも優しく、聞き上手な二三江さんの気質があらゆる人に親しまれ、桜井商店は地域住民の憩いの場として愛され続けています。



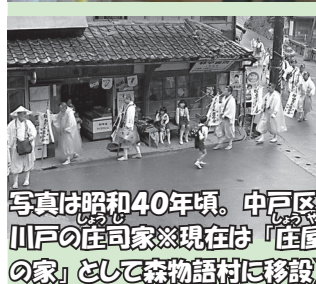
幼少時代の友達との貴重な写真  
（左から三番目が桜井さん）  
昭和11年頃 出合橋にて



吉野建て（傾斜地を利用した2階に入口を作る吉野地方の建築様式）の店舗兼住居。地下室はもともと食堂として使用されており、裏庭には井戸がある。



ご近所の雑貨屋  
「前田商店」の前田華代さんは御年93歳！！黒滝村には元氣なおばあちゃんがいっぱいです！！



黒滝村は修験道の行者たちの通り道でした。シーズン時は昼夜問わず行者が訪れ、実質24時間営業状態がつづきました。

写真は昭和40年頃。中戸区川戸の庄司家※現在は「庄屋の家」として森物語村に移設



昭和31年9月  
遍照寺梵鐘 供養



赤滝方面からと臨川方面からの川が合流する文字通りの「出合橋」。桜井商店前の出合交差点付近は、大勢の人が行き交いました。

## 中戸（川戸）には水力発電所がありました



記録では大正10年5月～昭和24年4月まで存在したとされますが、今は跡地すら見当たりません。

父・芳蔵さんが家族で住み込み勤務した村営の中戸発電所は、左写真の倉庫や大木の手前側に建設されていましたが、写真はあろうか、その他の資料もほとんど現存していないようです。48kWhの低出力の為、昭和に入る頃には電力不足となり、宇治川電気からの送電に頼らざるを得なくなりました。



現在は主に駄菓子屋として営業していますが、人気商品の「大豆佃煮」など一部食品の他、宅急便や農作物の種の取り扱いもあり、重宝されています。

## 桜井商店

奈良県吉野郡黒滝村寺戸62-7

TEL 0747-62-2243



前・代表

## 岡村イツヨさん

1933年2月1日、下市町広橋で生まれ育ち、1955年結婚を機に黒滝に移住するも夫の信夫さんを早くに亡くし、農協に就職。黒滝村森林組合に転職し、定年退職後から「黒滝蒟蒻よもぎの里」を長瀬、中戸地区の有志と立ち上げた。代表を遠縁の親戚にあたる岡村美佐子さんに譲ったいまも現役の肝っ玉があちゃん。

### ◇全ての始まりは道の駅◇

●人気を誇る「黒滝蒟蒻よもぎの里」は、地元産こんにゃくなどの家庭の味を、黒滝村の名物商品にまで押し上げ商業化に成功したという点で、現在白きゅうりの6次産業化を進める黒滝村における6次産業化プロジェクトの先例と見ることができます。平成4年、長瀬にオープンした道の駅が観光客で賑わっているのを見た岡村イツヨさんは、長瀬の地区住民も何か売るべきだと考え、よもぎの草餅等の販売を一人5000円持ちよって8名でスタートしました。時を同じくして上質なこんにゃくを製造・販売していた中戸地区の4名と話し合い、合同チームとなったことが会社の前身となりました。初代会長は中戸地区の辻内八重菊さんでした。開始当初は順風満帆とはいかず、2～3年ほどは無収入状態が続きました。騒音など様々な問題から製造所の場所も決まらず、当番で各家庭で作ったり、プレハブを転々とするなど不安定な日々が続きました。

### ◇元祖串こんにゃく◇

●平成9年、現在の製造場所、販売場所に村からの助成で作業所が建設され、それを機に一人35万円の出資で資本金315万円、全員が取締役の有限会社として本格スタートしました。安定した作業所を得た「黒滝蒟蒻よもぎの里」は、みるみる成長を遂げました。●村一番の名物となった「串こんにゃく」は、元は端切れのこんにゃくを有効活用するためのアイデア商品でした。吉野杉の割り箸に刺すことで食べやすさはもちろん、上品な香りが付き、

またたく間に人気商品となり、いまや他の市町村のあちこちで串こんにゃくを見かけます。全て手作りの元祖黒滝の串こんにゃくには根強いファンが多数おり、わざわざ串こんにゃくを食べる為だけに村を訪れる観光客が後を絶たず、村への貢献は計り知れません。

### ◇平均年齢は72歳◇

●もとより商売が苦手な黒滝の村民性もあり、以前は「儲けるな」と理不尽に怒られることもしょっちゅうだったそうですが、「肝っ玉かあちゃん」たちは村おこしと生活の為、負けずに苦勞を乗り越え、結果を出すことで村に貢献し続けました。

●平成27年に岡村美佐子さんに代表を譲り世代交代を進めていますが、現在の平均年齢は72歳。時代と共にまとめ買いをするお客さんがどんどん減り、売り上げもピーク時から右肩下がり。決して楽観視できる現状ではありませんが、人口750人に満たない黒滝村の熱意あるおばあちゃんたちによる「民間力」の独自ビジネスモデルは注目され続け、日本中から見学や取材が訪れ続けています。



現・代表は岡村美佐子さん(73)  
「若い人に入って来てもらってこれからも元気に続けたい。」と笑顔で語ります。



蒟蒻作りの工程はシンプルながら、作業はかない大変です。ミキサーでどろどろにした芋に凝固剤を混ぜて30分近くこね続けてから一晩寝かせますが、こんにゃく芋はアクが強すぎる為、この段階ではまだ食べることもできません。



一晩寝かせたこんにゃくを重曹と一緒に大鍋で煮てアク抜きをし、冷水につけます。ついに絶品こんにゃくの出来上がり！



女性だけでも楽しく、足踏み式の杵と臼で餅をつきます。よもぎは旬の春の時期に採りためて一年分を冷凍保存する為、年間を通して草餅の品質が安定しています。



オススメの  
のシシトウ  
は手作り  
税込1000円



6個600円  
観光客には草餅の  
セト購入が人気。

### ★販売商品ご紹介★

串こんにゃくだけじゃない！  
たくさん商品があるのも魅力  
です。全部試したい！  
草餅 100円 蒟蒻 1丁 400円

手作り梅干し 500円

煮卵 3個 200円 (土日のみ)

ぜんざい 200円 (冬季の土日のみ)

黒滝産天然猪肉 500g 3000円

その他商品ラインナップ多数！！



わたしたちの一生懸命をご賞味ください！  
黒滝蒟蒻よもぎの里

奈良県吉野郡黒滝村長瀬 10 年中無休 (年末年始休み)  
宅配も承ります。お電話ください (※串こんにゃく不可)  
TEL 0747-62-2188 FAX 0747-62-2727  
営業時間 7 時頃～ 15 時頃